

PRESS RELEASE

United Nations Development Programme

国連開発計画 (UNDP) 東京事務所

Tel: 03-5467-4751

Fax: 03-5467-4753



プレスリリース

2008年3月20日



アフリカ諸国及び日本の閣僚が、

第四回アフリカ開発会議(TICAD IV)の方向性を決定

(第四回アフリカ開発会議 (TICADIV) 閣僚級準備会合の開催)

2008年3月20日リブルビル(ガボン) -3月20、21日、アフリカ各国外相、日本政府代表団、国連アフリカ担当事務総長特別顧問室(UN-OSAA)、国連開発計画(UNDP)、世界銀行、アフリカ連合(AU)が出席し、今年5月28～30日、日本(横浜)で開催予定のアフリカ開発をテーマとする今年最大の会合、第四回アフリカ開発会議(TICAD IV)の準備会合が開催されます。

昨年ザンビア、ルサカとチュニジア、チュニスで開催された地域準備会合の議論及び結果を踏まえリブルビルで開催される閣僚級準備会合は、TICAD VIのテーマ「元気なアフリカを目指して：希望と機会の大陸」を新しいイニシアチブに転換するアジェンダに焦点が置かれます。TICAD IVの成果は、今年7月7～9日に日本が主催する北海道洞爺湖サミットにつながれると期待されています。

エル・ハジ・オマール・ボンゴ・オンディンバ ガボン共和国大統領は2日間の会合の開会式で参加者に歓迎の意を表す予定です。

TICAD IVの共催者である日本政府、国連アフリカ担当事務総長特別顧問室(UN-OSAA)、国連開発計画(UNDP)、世界銀行は、アフリカ連合(AU)と協力してTICAD IVのフォローアップとしてアフリカの包括的開発計画を策定する予定です。今回の閣僚級準備会合には、アフリカの開発を支援するアジア及びその他の地域諸国、地域及び国際機関、市民社会組織のハイレベルの代表が参加する予定です。

「TICAD が、今後 4～10 年の中長期的課題に効果的に取り組み、将来に向けて大きく飛躍する時が来ました。TICAD IV 閣僚級準備会合は、そのためのメカニズムを打ち出す最初の場となります。」と日本政府の高村正彦外務大臣は述べています。

「リーブルビルでの TICAD VI 閣僚級準備会合は、アフリカ各国外相、共催者、その他パートナーが、アフリカの開発支援のために TICAD IV があらたに飛躍するための方向性を決定する、極めて重要な会議です。」と、UNDP 代表団長であるボウナ・セマウ・ディオフ UNDP(本部ニューヨーク) アフリカ地域局 TICAD 担当部長は語りました。

開会式での共催者及び各国外相の演説、午後開かれる分科会では、TICAD の 3 つの優先分野である成長の加速化、ミレニアム開発目標 (MDGs) の達成と平和の定着を含めた「人間の安全保障」の確立、及び環境問題と気候変動問題に焦点があてられます。

2 日目の分科会セッションでは、南南協力、民間セクター、民間の財団や市民社会組織との協力、およびジェンダーなど TICAD IV の分野横断的要素について議論される予定です。2 日目の午後には分科会の結果の報告を受けて本会議が開かれ、その後閉会式が行われる予定です。

最初の TICAD 会議 (第一回アフリカ開発会議) は、アフリカの指導者と開発のパートナー間のハイ・レベルな政治対話として 1993 年に組織されました。その後アフリカ諸国の「自助努力 (オーナーシップ)」と国際社会と開発パートナーとの「パートナーシップ」という基本原則の下で、アフリカの開発イニシアチブを促進する重要な国際的な枠組みへと進化を遂げてきました。

TICAD プロセスの副産物の一つとしてアフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム (AABF) があります。2007 年 2 月にタンザニアのダルエスサラームで開催された ABBF の 4 回目の会合は、アフリカ経済の成長加速を後押しする 1 億 5,600 万米ドル相当のビジネス展開につながりました。

TICAD フレームワークの中では、日本政府が 10 億ドルを拠出し、アフリカ開発銀行 (AfDB) が管理・運営する「アフリカ民間セクター開発のための共同イニシアチブ (EPSA for Africa)」を通じた中小企業の資金調達メカニズムを整備する協議も進められています。

「人間の安全保障」は、日本政府の政策及び TICAD プロセスの重要な理念です。これには、貧困、飢餓、識字率、HIV/エイズその他疾病、女性及び女の子に対する差別、環境劣化などの改善を 2015 年までに達成する 8 つのミレニアム開発目標 (MDGs) への取り組みを加速することが含まれています。

TICAD IV 地域準備会合では、MDGs が掲げる初等教育の完全普及が優先課題であり、学校建設・教職員の確保および教材の提供が、特に農村部において重要な課題であるという認識が確認されました。保健医療関連の目標に関しては、HIV/エイズ、マラリア、結核のまん延との闘いを強化することが引き続きの優先課題であり、プライマリー・ヘルスケア・サービスの提供を改善・充実するための能力構築が必要です。

人間の安全保障への支援が、1999年の創設以来国連の「人間の安全保障基金 (UNHSTF) 」への累積額335億米ドルに及ぶ日本政府の貢献の基礎を成しています。「人間の安全保障基金」はこれまでに国連諸機関が実施する約180件のプロジェクトを支えてきました。この中には、コンゴ民主共和国、リベリア、シエラレオネ、スーダン等の国々での平和の定着や民主化を促進するアフリカでの50件を超すプロジェクトが含まれています。

TICAD の第3の優先課題である環境問題に関しては、気候変動はアフリカの持続可能な開発最大のリスクの一つであり、天然資源の保護と持続可能な利用に影響を与え、その影響が数十年に及んで、アフリカの社会経済成長を逆転させる怖れがあります。気候変動によってマラリアなど感染症が発生・まん延する危険性もあります。TICAD IV 地域準備会合では、アフリカ各国の環境適応計画の策定・実施、そして適切な技術による再生可能な代替エネルギーの開発、特に気候変動問題に最も脆弱な貧困地域社会のための取り組みを支援することが肝要であると参加者の意見が一致しています。



Office of the Special Adviser on Africa



United Nations
Development Programme



The World Bank

詳しくは、お問い合わせは、UNDP 東京事務所 西郡（広報・市民社会担当官：03-5467-4751、toshiya.nishigori@undp.org）まで。

UNDP is the UN's global development network, advocating for change and connecting countries to knowledge, experience and resources to help people build a better life. We are on the ground in 166 countries, working with them on their own solutions to global and national development challenges. As they develop local capacity, they draw on the people of UNDP and our wide range of partners.

国連開発計画(UNDP)は国連システムのグローバルな開発ネットワークとして、変革への啓蒙や啓発を行い、人々がよりよい生活を築けるよう、各国が知識や経験や資金にアクセスできるよう支援しています。われわれは、166カ国で活動を行い、各国の人々とともに、グローバルな課題や国内の課題に対し、それぞれの国に合った解決策が見出せるよう取り組んでいます。それぞれの国の能力強化にあたっては、UNDPのスタッフの知識や幅広い分野のパートナーシップが役立っています。世界で70億ユーロに相当するエネルギーと環境分野のプロジェクトを実施しているUNDPは、世界でも有数の気候変動に対しての技術支援提供機関です